

産院からのお知らせ

～60年のあゆみ(その3)～

当院60年のあゆみ(その3)

当院は1953(昭和28)年に開院して以来、今年の2月10日で創立60周年を迎えております。そこで9月に続き、当院の歴史を振り返る 第3回目です。

【国際活動編】

当院は赤十字病院の一施設として、赤十字のさまざまな国際活動に職員を派遣し協力しております。今後も国際救援活動はもちろんのこと、赤十字病院唯一の「産院」という特色を生かした国際的な母児支援にも積極的に協力し、赤十字の使命を果たしていきます。



HIVエイズ支援事業（ジンバブエ共和国）

ジンバブエのような発展途上国では、HIVに感染し、エイズを発症しても貧困のために病院にかかるお金のない人が多くいます。

赤十字ではそのような人のために現地ボランティアによる在宅ケアを提供しています。また、母子感染予防のための取り組みや患者自身が運営するサポートグループ、ユースメンバーによる予防教育活動、エイズ孤児の支援などにも力を入れています。



国際災害救援活動（インドネシア共和国）

2004年（平成16年）12月に発生したスマトラ島沖地震・津波災害はインド洋沿岸地域において甚大な被害をもたらしました。

赤十字では発災直後から、医師や看護師などの救援要員をインドネシアとスリランカの被災地に派遣して、被災者の診療や救援物資の配布など支援活動を行いました。しかしながら、被害があまりにも甚大であったことから、赤十字では救援から復興までを切れ目ない一連のプロセスとして捉えて継続した支援を行ってまいりました。



母子保健事業支援（ウガンダ共和国）

ウガンダの北部では20年にわたる紛争の終結後も多くの妊産婦が非衛生的な環境下での出産を余儀なくされている状況にあり、妊産婦の死亡率も高い状況が続いています。赤十字では、平成22年から妊産婦の安全な出産を目指した母子保健事業を開始しており、衛生的な出産環境の整備と母性保護の普及啓発に力を入れています。

<最近10年の当院における国際救援活動>

派遣先	事業名称	派遣職員	派遣期間
ジンバブエ共和国	HIVエイズ支援事業	石村 久美子	平成17年1月15日 ～ 平成17年7月18日
インドネシア共和国	スマトラ島沖地震・津波被災者への救援活動	荒巻 東香	平成17年3月1日 ～ 平成17年3月30日
インドネシア共和国	ジャワ島中部地震救援事業	石村 久美子	平成18年5月31日 ～ 平成18年6月29日
ジンバブエ共和国	HIVエイズ支援事業	荒巻 東香	平成18年12月5日 ～ 平成19年6月4日
ジンバブエ共和国	HIVエイズ支援事業	青柳 幸子	平成19年6月24日 ～ 平成19年12月15日
インドネシア共和国	スマトラ島沖地震・津波復興支援事業	石村 久美子	平成19年11月3日 ～ 平成20年10月27日
ウガンダ共和国	ウガンダ赤十字母子保健事業事前調査	内木 美恵	平成21年8月29日 ～ 平成21年9月13日
ウガンダ共和国	ウガンダ赤十字社母子保健事業	内木 美恵	平成22年7月4日 ～ 平成22年7月18日
ウガンダ共和国	ウガンダ赤十字社母子保健事業	平井 香名	平成23年7月5日 ～ 平成23年9月24日

<過去のサンシャイン記事>

[平成17年4月「ジンバブエでの国際救援～HIVエイズ支援事業～」](#)

[平成17年6月「スマトラ島沖地震・津波災害救援活動」](#)

[平成18年7月「ジャワ島中部地震救援活動」](#)

[平成19年4月「当院の国際活動について～HIVエイズ支援事業～」](#)

[平成22年10月「ウガンダ赤十字社母子保健事業」](#)

[平成23年11月「ウガンダでの国際支援～母子保健事業」](#)

「当院60年のあゆみ」第1回、第2回はこちらからご覧ください

[平成25年8月「建物編」](#)

[平成25年9月「事業編」](#)